

教科【商業】

単元名 財務諸表分析
---------------

[指導項目] ア 連結財務諸表を用いた財務諸表分析 イ 株価関連指標
--

1 単元の目標

企業価値の評価、財務諸表分析に関する知識・技術などを活用して、指標を組み合わせて総合的に分析し、会計情報の効果的な活用ができるようにする。

2 単元の評価規準

知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
代表的な指標について理解し、各指標の数値を正しく算定できる技術を身に付けている。	各指標にて算出した数値を用いた企業の業績分析や投資判断について説明することができる。	各指標にて算出した数値を用いた企業の業績分析について、主体的に取り組んでいる。

3 指導の評価の計画（4時間）

時間	ねらい・学習活動	重点	記録	備考（評価規準・評価方法）
第一次 (1時間)	1. 財務諸表分析 連結財務諸表や関係書類について理解する ・財務諸表や関係書類の記載事項を学習する。	知	○	・代表的な指標について理解し、各指標の数値を正しく算出する技術を身に付けている。 ワークシート・小テスト
第二次 (1時間)	2. 各指標の計算方法、活用方法 指標を用いた分析方法を理解する ・連結財務諸表から数値を読み取り、指標を活用する方法を学習する。	主	○	・各指標にて算出した数値を用いた企業の業績分析について、主体的に取り組んでいる。 ワークシート・小テスト
第三次 (2時間)	3. 各指標の活用と実践 企業分析・株価の変動を理解する ・企業のIR資料や株価を用いて適切な投資判断の方法を学習する。	思	○	・各指標にて算出した数値を用いた企業の業績分析や投資判断について説明することができる。 ワークシート

4 観点別学習状況の評価の進め方

観点：【思考・判断・表現】

(1) 評価の進め方（授業の流れを含む）

財務会計Ⅱの単元である「財務諸表分析」では、連結財務諸表に関する「知識・技術」を身に付けさせると共に、自ら思考・判断しながら財務諸表や指標を活用し、主体的に学習に取り組むことができているかを評価する。

## (2) 評価の実施事例

### ア 実施事例の概要

3社の連結財務諸表の数値データを用いて、ワークシートに指示された各指標の分析ができており、今後の株価変動の予測を立てながら、説明することができるかを評価する。

### イ 評価規準

評価	B	A	C
状況	おおむね満足できる	十分満足できる	努力を要する
	各指標の数値を正しく算出できている。また各指標を用いた企業の業績分析ができており、株価の割高や割安など学習したことを活用して投資判断ができています。	各指標の数値を正しく算出できている。また各指標を用いた企業の業績分析ができており、株価の割高や割安など学習したことや、今後の業界の動向・ニュースなどを活用して投資判断の理由を論理的に説明することができている。	各指標の数値を正しく算出できておらず、各指標を用いて、企業の業績分析ができていない。  【手立て】 前時までの学習内容を振り返らせ、各指標や活用方法を確認させる。

### ウ 評価の考え方

#### ○「おおむね満足できる」状況（B評価）

ワークシートの各指標をすべて埋めることができている。各指標を活用し、株価の割高や割安など学習したことを活用して3社を比較し、投資判断ができていればB評価とする。

#### ○「十分満足できる」状況（A評価）

ワークシートの各指標をすべて埋めることができている。各指標を活用し、株価の割高や割安など学習したことや、今後の業界の動向・ニュースなどを踏まえ3社を比較し、投資判断の理由を論理的に説明することができていればA評価とする。

#### ○「努力を要する」状況（C評価）

ワークシートの各指標を埋めることができていない。前時までに学習した各指標の計算や活用方法を確かめずに取り組んでおり、自身の学習を調整できていないためC評価とする。